

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日	(水)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F港湾復旧改造工事								
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)			2019/2/18	2019/2/18	2019/2/18			
	作業主管G	港湾土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/2/4	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-129			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0048
調整後保管日時				2019年3月13日 8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/13 8:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0049
				2019/2/18
調整後保管日時		2019年3月13日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F港湾復旧改造工事								
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)						2019/2/18	2019/2/18	2019/2/18
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/2/4	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-129
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ			① ② ③	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2					m <sup>2</sup>				
	3					m <sup>2</sup>				
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/3/13 8:25	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日	(水)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F港湾復旧改造工事								
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)			2019/2/18	2019/2/18	2019/2/18			
	作業主管G	港湾土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/2/4	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-129			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率			
		①	②	③						
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	β+γ 線量率
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0050
調整後保管日時				2019年3月13日 9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/3/13 8:55	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0051
調整後保管日時				2019年3月13日 9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月13日 (水)		9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F港湾復旧改造工事							
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)							
	作業主管G	港湾土木グループ		監理員			TEL		
	元請会社			担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/2/4	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-129
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ	B 02	D A	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2				m <sup>2</sup>				
	3				m <sup>2</sup>				
4				m <sup>2</sup>					
5				m <sup>2</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/13 9:20	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木	02 伐採木(幹・根)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0052
調整後保管日時				2019/2/18
2019年3月13日				10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F港湾復旧改造工事								
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)						2019/2/18	2019/2/18	2019/2/18
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/2/4	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-129
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/13 9:45	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F港湾復旧改造工事										
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)						2019/2/18	2019/2/18	2019/2/18		
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2019/2/6	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-129		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ			B	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2								m <sup>2</sup>			
	3								m <sup>2</sup>			
4								m <sup>2</sup>				
5								m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	03	—	0053
				2019/2/18
調整後保管日時		2019年3月14日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 9:00	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		D	伐採木						
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)									
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。									
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。									

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F港湾復旧改造工事								
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)					2019/2/18	2019/2/18	2019/2/18	
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/6	測定者			測定器名	ICW			
						管理番号	F1-ICW-129			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	金属ガラ			① B 01 ② D ③ A	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2					m <sup>2</sup>				
	3					m <sup>2</sup>				
	4					m <sup>2</sup>				
	5					m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0054
				2019/2/18
調整後保管日時		2019年3月14日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 10:05	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日	(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F港湾復旧改造工事								
	発生場所	陳場沢側河口付近(G1-08)			2019/2/18	2019/2/18	2019/2/18			
	作業主管G	港湾土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/2/6	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-129			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率			
	1	可燃物その他(フレコン)	A	04	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0055
				2019/2/18
調整後保管日時		2019年3月14日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(フレコン)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/14 10:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F港湾復旧改造工事									
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)						2019/2/18	2019/2/18	2019/2/18	
	作業主管G	港湾土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/6	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-129	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	03	—	0056
				2019/2/18
調整後保管日時		2019年3月14日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/14 10:30	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/14 10:30	3 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/14 10:30	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F港湾復旧改造工事									
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)					2019/2/18	2019/2/18	2019/2/18		
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/2/6	測定者			測定器名	ICW	管理番号	FI-ICW-129		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	難燃物その他	C	04	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	ゴム類	C	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0057
				2019/2/18
調整後保管日時		2019年3月14日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	FI-ICWBL-127	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他 (→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアB	2019/3/14 11:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F港湾復旧改造工事								
	発生場所	陳場沢側河口付近(GI-08)						2019/2/18	2019/2/18	2019/2/18
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/2/6	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-129
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	不燃物その他	B	10	D	A	4 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2	ケーブル類	B	08	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0058
				2019/2/18
調整後保管日時		2019年3月15日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	ケーブル類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 8:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
	発生場所	H3エリア 地下水バイパス一時貯留タンク					2019/2/19	2019/2/19	2019/2/18	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/2/15	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-108
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	フランジ付付属品	B	12	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0073
調整後保管日時				2019年3月15日 11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジ付付属品 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 11:05	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア					2019/2/20	2019/2/20	2019/2/20	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/7	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-96	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	13 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有
2	不燃物その他	B	10	D	A	5 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
キャスクNo.185 No.186 No.187										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0086
				2019/2/20
調整後保管日時		2019年3月13日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	6m3コンテナ(ZK-02282)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/3/13 8:35	6 m <sup>2</sup>			ZK-02282	1
1	2	6m3コンテナ(ZK-02258)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/3/13 8:35	6 m <sup>2</sup>			ZK-02258	1
1	3	6m3コンテナ(ZK-02267)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/3/13 8:35	6 m <sup>2</sup>			ZK-02267	1
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票				計上No.	6013803 - 0011
---------------------	--	--	--	-------	----------------

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H6タンクエリア						2019/2/20	2019/2/20	2019/2/20	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/7	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-96	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	金属ガラ	B	01	D	A	13 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
	2	不燃物その他	B	10	D	A	5 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
	3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
キヤスクNo.188 No.189 No.190											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0087
				2019/2/20
調整後保管日時		2019年3月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02268)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/3/13 9:35	6 m <sup>3</sup>		ZK-02268	1
	1	2	6m3コンテナ(ZK-02262)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/3/13 9:35	6 m <sup>3</sup>		ZK-02262	1
	1	3	6m3コンテナ(ZK-02259)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/3/13 9:35	6 m <sup>3</sup>		ZK-02259	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ  
上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木										
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有									
A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」													

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0088
				2019/2/20
調整後保管日時		2019年3月13日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 × モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H6タンクエリア					2019/2/20	2019/2/20	2019/2/20		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員						
	元請会社				担当者						
	線量測定年月日	2019/2/7	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-96		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	13 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	2	不燃物その他	B	10	D	A	5 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
キャスクNo.191 No.192 No.193											

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02263)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/3/13 11:20	6 m <sup>2</sup>		ZK-02263	1
	1	2	6m3コンテナ(ZK-02273)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/3/13 11:20	6 m <sup>2</sup>		ZK-02273	1
	1	3	6m3コンテナ(ZK-02271)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/3/13 11:20	6 m <sup>2</sup>		ZK-02271	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

×  
モ 上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H6タンクエリア						2019/2/20	2019/2/20	2019/2/20	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/2/7	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-96	
※カテゴリ	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	2	可燃その他	A	04	D	A	10 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	3	ゴム類	C	01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
メモ	キヤスクNo.194 No.195 No.196										

受付番号			
廃2019	—	03	— 0089
調整後保管日時			2019年3月14日 8:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02283)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/14 8:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-02283	1
	1	2	6m3コンテナ(ZK-02276)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/14 8:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-02276	1
	1	3	6m3コンテナ(ZK-02284)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/14 8:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-02284	1
									m <sup>3</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メモ	上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月14日	(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア			2019/2/20	2019/2/20	2019/2/20			
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/2/7	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号 1F-ICWBL-96			
※カテゴリ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A 01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	0.2 mSv/h	$\beta$ 有	1 mSv/h
	2	可燃その他	A 04	D	A	10 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	0.2 mSv/h	$\beta$ 有	1 mSv/h
	3	ゴム類	C 01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	0.2 mSv/h	$\beta$ 有	1 mSv/h
	4					m <sup>2</sup>				
メモ	カスクNo.197 No.198 No.199									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0090
				2019/2/20
調整後保管日時		2019年3月14日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h								
メモ	1	1	6m3コンテナ(ZK-02253)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/3/14 9:40	6 m <sup>3</sup>			ZK-02253	1
	1	2	6m3コンテナ(ZK-02255)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/3/14 9:40	6 m <sup>3</sup>			ZK-02255	1
	1	3	6m3コンテナ(ZK-02261)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/3/14 9:40	6 m <sup>3</sup>			ZK-02261	1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア						2019/2/20	2019/2/20	2019/2/20
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2019/2/7	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-96
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有
2	可燃その他	A	04	D	A	10 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
3	ゴム類	C	01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
キャスクNo.200 No.201 No.202										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0091
				2019/2/20
調整後保管日時		2019年3月14日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-01748)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/14 11:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-01748	1
	1	2	6m3コンテナ(ZK-01739)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/14 11:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-01739	1
	1	3	6m3コンテナ(ZK-01745)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/14 11:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-01745	1
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア						2019/2/20	2019/2/20	2019/2/20
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/7	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-96
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
1	紙・ウエス類	A	01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
2	可燃その他	A	04	D	A	10 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
3	ゴム類	C	01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	キャスクNo.203 No.204 No.205									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0092
				2019/2/20
調整後保管日時		2019年3月15日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02290)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/15 9:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-02290	1
	1	2	6m3コンテナ(ZK-02285)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/15 9:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-02285	1
	1	3	6m3コンテナ(ZK-02281)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/15 9:10	6 m <sup>3</sup>		ZK-02281	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0093
				2019/2/20
調整後保管日時		2019年3月15日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	H6タンクエリア						2019/2/20	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/7	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号		
							1F-ICWBL-96		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	紙・ウエス類	A 01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	0.2 mSv/h	$\beta$ 有
2	可燃その他	A 04	D	A	10 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	0.2 mSv/h	$\beta$ 有	1 mSv/h
3	ゴム類	C 01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	0.2 mSv/h	$\beta$ 有	1 mSv/h
4					m <sup>2</sup>				
5					m <sup>2</sup>				
メ モ キャスクNo.206 No.207 No.208									

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02265)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/3/15 10:25	6 m <sup>3</sup>		ZK-02265	1
	1	2	6m3コンテナ(ZK-02266)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/3/15 10:25	6 m <sup>3</sup>		ZK-02266	1
	1	3	6m3コンテナ(ZK-02270)	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2019/3/15 10:25	6 m <sup>3</sup>		ZK-02270	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ  
上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0103
調整後保管日時				2019/2/21
2019年3月15日				12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア				2019/2/21	2019/2/21	2019/2/20		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/7	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-96	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A 01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
	2	可燃その他	A 04	D	A	10 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
3	ゴム類	C 01	D	A	4 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h	
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
メモ	キャスクNo.209 No.210 No.211									

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02260)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/15 11:30	6 m <sup>3</sup>		ZK-02260	1
	1	2	6m3コンテナ(ZK-02243)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/15 11:30	6 m <sup>3</sup>		ZK-02243	1
	1	3	6m3コンテナ(ZK-02246)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/3/15 11:30	6 m <sup>3</sup>		ZK-02246	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。
----	-------------------------

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0002

作業主管理	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	所内共通P/C4C, 4D取替工事								
	発生場所	4号T/B建屋						2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22
	作業主管G	所内電源グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/4	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-34
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	B	0.2 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
2	不燃物(保温材)	B	06	D	A	0.3 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
3	不燃物(不燃物その他)	B	10	D	B	0.3 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0111
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月15日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h									
1	1	不燃物(金属ガラ) ②	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアP1(屋外)	2019/3/15 10:20	0.2 m <sup>3</sup>				1			
2	1	不燃物(保温材) ②	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアP1(屋外)	2019/3/15 10:20	0.2 m <sup>3</sup>				1			
3	1	不燃物(不燃物その他) ②	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアP1(屋外)	2019/3/15 10:20	0.2 m <sup>3</sup>				1			
									m <sup>3</sup>							
									m <sup>3</sup>							

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0080

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0112
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月13日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2		ICWBL	F1-ICWBL-127	
3				
4				

作業主管理記入欄	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	M/C2A・2B～1A・1B母連電路埋設化関連除却								
	発生場所	1系電気室～予備変電所、南側66kV開閉所補助建屋						2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22
	作業主管G	所内電源グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/2/14	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-166	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	ケーブル	B	08	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	FEP管	C	03	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.019 mSv/h	無
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/13 11:00	4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	FEP管(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 11:30	3 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0080

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日	(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	M/C2A・2B～1A・1B母連電路埋設化関連除却								
	発生場所	1系電気室～予備変電所、南側66kV開閉所補助建屋			2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22			
	作業主管G	所内電源グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/2/14	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-166	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	ケーブル	B	08	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.019 mSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0113
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月14日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2		ICW	F1-ICW-179	
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/3/14 10:00	4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアB	2019/3/14 10:00	5 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0080

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0114
調整後保管日時				2019/2/22
2019年3月15日				10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	M/C2A・2B～1A・1B母連電路埋設化関連除却							
	発生場所	1系電気室～予備変電所、南側66kV開閉所補助建屋					2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22
	作業主管G	所内電源グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/14	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-166
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	ケーブル	B 08	D B	3 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	アングル、ボルトその他	B 01	D B	2 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.012 mSv/h	無	
	3				m <sup>2</sup>				
4				m <sup>2</sup>					
5				m <sup>2</sup>					

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 9:50	3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	アングル、ボルトその他 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 9:50	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0117
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月13日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Co処理エリア					2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員					
	元請会社				担当者					
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	アスファルトガラ	B	02	D	B	2 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
4tダンプ(2m3分) × 1台 = 2m3 アスファルトガラ搬出いたします。										

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/3/13 8:20	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
			B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
					06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
					11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
					12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	16 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」; B:「工事のために持ち込まれた物」			
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)									
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。									
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。									

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Co処理エリア					2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	金属ガラ	B	01	D	B	2 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
4tダンプ(2m3分)×1台=2m3 金属ガラ搬出いたします。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0118
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月13日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/13 9:10	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

保 管 実 績 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	#1ガレキ撤去工事								
	発生場所	1号機北西ヤード・中継ヤード						2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22
	作業主管G	1号機建築グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/15	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-SC-200	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	不燃物:金属ガラ	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.6 μSv/h	0.6 μSv/h	無
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
1) 前回 不燃物搬出日 2019年 3月 7日										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0119
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	不燃物:金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/3/13 9:40	8 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	#1ガレキ撤去工事								
	発生場所	1号機北西ヤード・中継ヤード					2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22	
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/15	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-SC-200	
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃物:金属ガラ	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.6 μSv/h	0.6 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
メモ	1) 前回 不燃物搬出日 2019年 3月 7日									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0120
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月14日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物:金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 8:20	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0027

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1～4号機 サブドレン他浄化設備pH緩衝塔設置及び同関連除却								
	発生場所	サブドレン移送設備建屋、サブドレン浄化設備建屋						2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-34	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
1	金属ガラ	B	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
2	不燃シート	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
3	PE管(金属波板付)	B	10	D	B	2 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
4	塩ビ管・ホース	B	05	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
5	機器類	B	03	D	B	1 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0123
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月13日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/13 10:55	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	不燃シート②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/13 10:55	0.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	PE管(金属波板付)②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/13 10:55	1.5 m <sup>2</sup>			1
	4	1	塩ビ管・ホース	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 11:00	0.2 m <sup>2</sup>			2
	5	1	機器類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/13 10:55	0.5 m <sup>2</sup>			1
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0035

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0127
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月13日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	低圧ケーブル信頼性向上工事(仮)(H30)								
	発生場所	構内企業棟廻り						2019/2/22	2019/2/21	2019/2/21
	作業主管G	配電・電路グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/20	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-PS172	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	コンクリート柱	B	02	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	コンクリートガラ	B	02	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	腕金、ボルト類	B	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリート柱 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/3/13 8:45	5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/3/13 8:45	2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	腕金、ボルト類 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/13 8:45	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0035

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	低圧ケーブル信頼性向上工事(仮)(H30)								
	発生場所	構内企業棟廻り					2019/2/22	2019/2/22		
	作業主管G	配電・電路グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-PS172		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無		
		①	②	③				β+γ 線量率		
1	コンクリート柱	B	02	D	A	10 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	コンクリートガラ	B	02	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	腕金、ボルト類	B	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0128
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月14日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリート柱 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/3/14 8:55	8 m <sup>2</sup>			1
	2	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/3/14 8:55	2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	腕金、ボルト類 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 8:55	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0008

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日	(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	3, 4号機T/B防水性向上対策工事								
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋(GK-10西～中央)			2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22			
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/2/15	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-55			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率			
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率			
1	不燃物(コンクリートガラ)	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0129
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(コンクリートガラ) ①	5 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/13 9:50	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0008

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日	(水)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	3, 4号機T/B防水性向上対策工事							
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋(GK-10西～中央)			2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22		
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/15	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号		
						F1-ICWBL-55			
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	不燃物(コンクリートガラ)	B 02	D B	5 m <sup>2</sup>	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
	2				m <sup>2</sup>				
	3				m <sup>2</sup>				
	4				m <sup>2</sup>				
メ モ	5				m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0130
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月13日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(コンクリートガラ) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/13 10:40	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みの事。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0008

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	3, 4号機T/B防水性向上対策工事								
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋(GK-10西～中央)						2019/2/22	2019/2/22	2019/2/22
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/15	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-55
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
1	不燃物その他(バッテリー)	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
2	不燃物その他(安全帯)	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
3	不燃物その他(安全靴)	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0131
				2019/2/22
調整後保管日時		2019年3月13日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他(バッテリー) ⑥	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/3/13 11:30	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	不燃物その他(安全帯) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/13 11:30	0.2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	不燃物その他(安全靴) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/13 11:30	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0134
				2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月13日		11:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア						2019/2/25	2019/2/25	2019/2/25
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2019/2/20	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-33
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	金属ガラ			① ② ③	2.5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2					m <sup>3</sup>				
	3					m <sup>3</sup>				
4					m <sup>3</sup>					
5					m <sup>3</sup>					
メ モ	金属ガラ 4tDT(2.5m <sup>3</sup> ) × 1台 = 2.5m <sup>3</sup>									

線量測定内容			
測定日	2019年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/3/13 11:25	1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日	(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Co処理エリア			2019/2/25	2019/2/25	2019/2/25			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員						
	元請会社			担当者						
	線量測定年月日	2019/2/22	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号			
							T-ICWBL-04			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	10 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
10tダンプ(2m3分)×5台=10m3 コンクリートガラ搬出いたします。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	03	—	0135
				2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月14日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/3/14 8:00	5 m <sup>2</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/3/14 9:05	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0136
調整後保管日時				2019/2/25
2019年3月15日				8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Co処理エリア				2019/2/25	2019/2/25	2019/2/25		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/22	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	10 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	10tダンプ(2m3分)×5台=10m3 コンクリートガラ搬出いたします。									

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/15 8:25	5 m <sup>2</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/15 9:20	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0035

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	低圧ケーブル信頼性向上工事(仮)(H30)								
	発生場所	構内企業棟廻り						2019/2/25	2019/2/25	2019/2/25
	作業主管G	配電・電路グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-PS172	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンクリート柱	B	02	D	A	10 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	カバー、エフレックス	C	04	D	A	4 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	腕金、ボルト類	B	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0138
				2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月15日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2		ICWBL	F1-ICWBL-127	
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリート柱 ①	5 $\mu$ Sv/h	7 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/15 8:55	8 m <sup>2</sup>			1
	2	1	カバー、エフレックス (→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアB	2019/3/15 9:00	2 m <sup>2</sup>			2
	3	1	腕金、ボルト類 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 8:55	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0035

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0139
				2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月15日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2		ICW	F1-ICW-179
3			
4			

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	13:00		承認	審査	作成
	作業件名	低圧ケーブル信頼性向上工事(仮)(H30)							
	発生場所	構内企業棟廻り						2019/2/25	2019/2/25
	作業主管G	配電・電路グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-PS172	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリート柱	B 02	D A	10 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ビニール類	A 02	D A	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	電線、ケーブル	B 08	D A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	碁子類	B 10	D A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	シート	C 02	D A	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。								

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリート柱 ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/15 12:10	8 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアB	2019/3/15 13:00	0.5 m <sup>2</sup>			2
	3	1	電線、ケーブル ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 12:10	2 m <sup>2</sup>			1
	4	1	碁子類 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 12:10	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0140
				2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月13日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

作業主管理G記入欄メモ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	Gエリア						2019/2/25	2019/2/25	2019/2/25
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	NaIシンチレーター		管理番号	F1-SC-205
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	保温材	B	06	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管実績記入欄メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/3/13 12:20	6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0141
調整後保管日時				2019年3月13日 12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	Gエリア								
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	Naシンチレーター	管理番号	F1-SC-205	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	保温材	B	06	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/13 12:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 -- 0018

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	Gエリア					2019/2/25	2019/2/25	2019/2/25	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	Naシンチレーター		管理番号	
							FI-SC-205			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	保温材	B	06	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	03	—	0142
				2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月14日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	FI-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/3/14 10:35	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木								
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)											
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。											
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。											

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	Gエリア					2019/2/25	2019/2/25	2019/2/25	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	NaIシンチレーター		管理番号	F1-SC-205
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	保温材			① B ② 06 ③ D B	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
2					m <sup>2</sup>					
3					m <sup>2</sup>					
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0143
				2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月14日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/3/14 10:40	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	Gエリア					2019/2/25	2019/2/25	2019/2/25	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	Naシンチレーター	管理番号	F1-SC-205	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	金属ガラ	B	D1	D	B	3 m <sup>3</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2019	—	03	—	0144	2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月14日		12:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 12:10	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0014

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	構内排水路(B系)拡張工事								
	発生場所	K2エリア西側道路						2019/2/25	2019/2/22	2019/2/22
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0145
				2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月15日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/15 8:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事								
	発生場所	K2エリア西側道路						2019/2/25	2019/2/22	2019/2/22
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ		B	02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.007 mSv/h
2							m <sup>2</sup>			
3							m <sup>2</sup>			
4							m <sup>2</sup>			
5							m <sup>2</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0146
				2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月15日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/15 9:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0147
				2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月15日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事								
	発生場所	K2エリア西側道路					2019/2/25	2019/2/22	2019/2/22	
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.007 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2019/3/15 9:30	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有	③	履歴		
						A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業・件名	5・6号ダクト・トレンチ漏水補修工事(平成30年度)								
	発生場所	K2エリア西側道路						2019/2/25	2019/2/22	2019/2/22
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0148
				2019/2/25
調整後保管日時		2019年3月15日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h								
	1	1	コンクリートガラ ①	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2019/3/15 10:15	5 m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0008

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	8:30	承認	審査	作成						
	作業件名	ガレキ一時保管施設設置(2期)工事												
	発生場所	エリアA2					2019/2/26	2019/2/25	2019/2/25					
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	TEL								
	元請会社				担当者	TEL								
	線量測定年月日	2019/2/18	測定者			測定器名	ICW							
	管理番号	F1-ICW-151												
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率			
		①	②	③										
	1	可燃物その他	A	04	D	B	2	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
	3	紙・ウエス類	A	01	D	B	1	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
欄	4						m <sup>2</sup>							
	5						m <sup>2</sup>							
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ・トンバック・プラスチック・紙ウエス類 企業殿持込													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0158
調整後保管日時				2019年3月13日 8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 8:30	3.9 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 8:30	1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 8:30	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。